

府中市インフラマネジメント計画改定検討協議会（第4回）会議録

- 開催日時 令和6年11月19日（火） 15:00～16:20
- 開催場所 プラッツ第5会議室
- 出席委員 6名（50音順）
根本 祐二会長、金子 雄一郎副会長、高山 清子委員、谷垣 岳人委員、
土方 康志委員、松木 紀美子委員
- 欠席委員 0名
- 出席説明員等
松村都市整備部長、轟道路課長、直井維持管理等担当主幹、
澁谷整備担当主幹、竹内道路課長補佐、山田公園緑地課長、
江内田公園緑地課長補佐、塩澤下水道課長、堤原下水道課長補佐
長谷川インフラマネジメント担当主査、石谷インフラマネジメント担当
八千代エンジニアリング(株) 野田、加藤、森
- 傍聴者 0名
- 議事日程
 - 1 第3回協議会における確認について
 - 2 議題
 - (1) 府中市インフラマネジメント計画（案）について
 - (2) タイトルについて
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - 3 その他

■会議録

○事務局 こんにちは。それでは定刻より少し前ではございますが、皆様お揃いですので、第4回府中市インフラマネジメント計画改定検討協議会を開会させていただきたいと存じます。開会に先立ちまして都市整備部長の松村より、ご挨拶申し上げます。

○都市整備部長 委員の皆様、こんにちは。都市整備部長の松村でございます。

本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日もご審議いただく案件は、1点目、府中市インフラマネジメント計画(案)について、2点目、タイトルについて、3点目、今後のスケジュールについての3件でございます。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。また、本日の協議会が最終回となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 それでは、会長、進行をお願いいたします。

○会長 では、会議に入りたいと思いますが、会議を開催するにあたり、事務局から本日の委員の出席状況について報告をお願いいたします。

○事務局 本日は、委員皆様のご出席をいただいておりますので、本協議会は有効に成立しておりますことをご報告します。

また、本日もこれまで同様に各取組の担当課の職員が同席させていただきます。以上でございます。

○会長 ありがとうございます。

続きまして、本日の傍聴希望者の状況を報告してください。

○事務局 昨日までに申し出がなく、本日の傍聴希望者はなしという状況でございます。

○会長 ありがとうございます。それでは、本日の資料について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 机上に配付させていただいております資料について、上から順に確認をお願いいたします。各資料右上に資料番号をふっております。

(配布資料の確認・資料1から6の簡単な説明)

○**会長** 事務局から、資料の確認がありました。資料の不足等はございませんでしょうか。

それでは、議事を進行します。次第1 第3回協議会における確認についてです。事務局から説明をお願いいたします。

○**事務局** 次第1、第3回協議会における確認については、資料が2種類ございます。はじめに資料2をご覧ください。効果算出方法の変更案についてご説明いたします。

前回の協議会において、委員の皆様から⑮車道以降の施策・施設については、市民アンケートのみではなく、客観的な指標を基に評価する要素も加筆するべきであろうとご意見がありましたので、再度、担当課等と検討いたしまして、修正させていただいております。また、全体を再度見直す中で軽微な修正が必要であると判断したのもございますので併せてご説明いたします。

赤字で記載した箇所が変更点となります。上から順にご説明いたします。サービス料金の適正化については、⑤公園の占用料及び使用料の適正化と書きぶりを揃えました。今回の改定においては、現行計画期間内にサービス料金を250円としていることから、今後更なる金額の見直しを行い、増額した際に増額分が効果額となると考え、⑤公園の占用料及び使用料の適正化と同じ説明が適切であると判断しました。

続きまして、④道路占用料の適正化については、担当者が把握しておくべき事項が※印以下で記載されておりましたが、この部分の説明を削除し、他の取組の書きぶりと揃えさせていただいております。

続きまして、⑩道路等包括管理事業については「毎年」という文言を他の取組と同様に「毎年度」とし文頭に表記しています。

続きまして、⑫公園緑地等における官民連携の推進について、第3回協議会後に委員より「他の項目に比べ、効果の算出方法について具体的な記載となっていないように思われます」とご指摘いただきましたので、主管課と相談のうえ、より具体的な内容を追記し、記載しております。

続きまして、⑭インフラ管理ボランティア制度についても同様に、委員から「効果の算出方法として、「登録団体の集計」というだけでは分かりにくいように思う。以前、取組の1は制度の周知によって登録団体を増やすことに主眼を置いています。取組の2は登録団体にアンケートを取って制度の使いやすさという点に主眼を置いています。と記載していた資料もあったので、これに沿った記載としてはいかがでしょうか。」とご指摘いただき、主管課と相談の上、記載内容を変更しております。

⑮車道以降の記載内容については、客観的な指標を基に評価する要素と

して、取組内容にも記載してある「〇〇計画に基づく管理」や「法定点検」という文言を念頭に、市民アンケート以外の指標も考慮したものとしております。

前回協議会で特に議論になりました②橋りょうにつきましては、府中市橋梁長寿命化修繕計画における健全性を一つの指標とする旨を記載しております。

資料2に関する内容は以上になります。事前にメールでご案内させていただきましたが、こちらにつきましては変更点の説明のみとさせていただきます。

続きまして資料3をご覧ください。

維持管理に関するアンケート案についてご説明させていただきます。

対象は、府中市メール配信サービス登録者約8,360人と府中市LINE公式アカウント登録者約5,000人、数だけを合わせると合計13,360人に対して行う予定です。実際は重複して登録されている方もいらっしゃると思いますが、少なくともLINE公式アカウント登録者である5,000人以上にはアンケートをとることが可能であると考えております。また、登録者の内訳についても、幅広い年代の方々が登録されていることを確認しておりますので、アンケート対象としては適切なものと判断いたしました。

時期としましては、毎年12月を予定しており、名称は府中市道路等包括管理事業アンケートとしておりますが、インフラ計画に記載してある施設ごとに設問を用意し、維持管理の状態について回答してもらうことを想定しております。

良い・悪い・の判断につきましては、写真を添付して例示しており、橋りょう・擁壁といった市民に分かりづらい施設についても、ご理解いただけるような作りとしています。収集の方法については、ロゴフォームを活用することといたします。ロゴフォームで収集することで、年度ごとの推移やその後の分析も容易になると考えております。

以上でございます。

○会長 それでは、今の説明に関してご意見ご質問がございましたらお出しく下さい。特に資料3の方は、初めてということになりますので、皆さま、ご自分で回答することを前提にすると、色々ご意見あるかと思えます。

○委員 市民の立場で見せていただいて、いくつか気になったことがあるのでお伝えできればと思います。まず、アンケートの良い・悪いの基準ですが、たまたま自分の家の側で知ってる施設の状態が悪いから悪いにするのか、あるいは、市内の施設を色々見てる中で、何パーセントが悪いから、

それは普通ぐらいかなと答えるか、何を基準に判断すべきかが少し分かりづらいと思いました。そういった基準の説明をアンケートの最初に記載しないと、市民としては答えづらいかなというのが一つ目です。

もう一つは、知らない施設、例えば大型構造物とかは本当に限られた所にしかなく、私が住んでいる地域にはないので、多分近所の方は答えられないと思います。しかし、アンケートの回答は全設問で必須回答となっておりパスできない構造になっているため、分らない設問でアンケートの回答をやめてしまう方がいるのではないかなと思います。なので、「知らない」や「不明」のような項目を作らないと、おそらくアンケート回収率が低くなると思うので、それをつけていただけるといいと思います。

また、写真の例があるのはすごく分かりやすいのですが、市民が知らない施設が結構あって、私が一番分らなかったのは、「里道（赤道）」が全く分からなくて、写真を見れば水路なのは分かるのですが、この言葉自体は聞いたことがありませんでしたので、なるべく市民が分かりやすいように検討していただければなと思います。

○会長 おっしゃる通りだと思います。2つ目のご意見は「わからない」や「不明」、「答えられない」といった選択肢を入れるということですね。

○委員 そうです。そうでないと、アンケートをやめてしまう方もいると思います。

○会長 1つ目のご意見は、「良い」といった選択肢が必要かは疑問があります。「全く問題ない」「ほぼ問題ない」「多少問題がある」「大いに問題がある」といった選択肢がいいかなと思います。市内の平均と言われても答えようがないので、居住エリアで問題がある・ないといった選択肢として、問題があるという回答が、あるエリアに集中する可能性はありますが、そういった選択肢とするやり方もあると思います。

○委員 他には、パーセントで聞く方法もあるかなと思います。どのぐらい良いとかを割合で聞くと、例えば、割合であれば2割ぐらい悪いように思う方もいらっしゃると思います。回答に迷った際に、何かそういう割合のような目安があると回答しやすいと思います。

○会長 こういったアンケートは、その悪さの程度と、割合を回答してもらいものと大きく2つありますが、一般には、その回答の基準は回答者に任せている部分もありますね。

○委員 どちらが馴染むのかは、おそらく人によって違うと思います。

○副会長 おっしゃる通りだと思ひまして、家の周りのことを念頭に置いて回答する人もいますし、市全体を念頭に置く方もいます。すがた、結局アンケートをどのように活用するかということだと思ひます。例えば、毎年アンケートを実施して多少細かく分析しようとする、前年度に比較して効果が出ているか等、そういった情報が必要になると思ひます。現状のアンケート案は、属性としては居住エリアの情報しかないので、少なくとも居住エリアを踏まえた分析は行えるかと思ひます。ただ、大まかに把握する調査だと思ひますので、あまり細かく指定はせず、回答者に任せてもいいのかと、そうせざるを得ないのかとも思ひます。

○委員 例へば、自治会長さんたちはすごく真面目な方なので、回答する場合すごく迷うと思うので気になります。

○副会長 そうですね。一方でさらっと答える人にとってはあまり気にならないとも考えられますので、どちらがいいとも言い難いです。現状のものは、全体的に非常に質問がシンプルで、答えやすいと思ひますし、写真で例示されているのは非常に分かりやすいなと思ひました。

タイトルですけども、「府中市道路等包括管理事業アンケート」ですと非常に硬い印象がありますので、例へば「身近な道路に関するアンケート」など、回答しやすいようなタイトルにした方が良くと思ひます。もし、道路等包括管理事業の一環で実施されるのであれば、サブタイトルをつけることでも良くと思ひます。

それから、市内の居住歴は聞かなくて良いのでしょうか。長く住んでる方のほうが、どちらかという気づきも多いように思ひます。人にもよりますが、一般的にこのような調査では居住歴を聞いたりしますので、設問が増えることが負担でなければ、後々結果を考察するとき参考になるのかなと思ひます。

それから、ペDESTリアンデッキ等、市民が利用しない可能性もありますので、「使用しない」等の選択肢がないと、おそらく「どちらでもない」という回答になってしまいますので、そこは付け加えると良くと思ひます。

また、橋梁と歩道橋は分けた方が良くと思ひますがいかがでしょう。施設ごとで管理方法が異なりますので、設問数は増えてしまひますが、分けても良いのかなと思ひます。

○委員 大変よくできていると思ひますが、道路等包括管理事業は、開始から何年が経ちましたか。開始前から、街の風景や普段生活して良くなったのか悪くなったのかどう感じるかといふような、施設毎ではなく全体として住みやすくなったかといふような設問を一つ入れておくと良いの

ではないかなと思います。

○会長 それは、いつと比べてというのはありますか。

○委員 道路等包括管理事業が始まって、民間にある程度委託が始まった時期等、事業が始まったことにより変わったかというイメージです。もしくは、昨年と変わったか等もあると思います。

○維持管理等担当主幹 道路等包括管理事業は、府中市全域で開始したのが令和3年度で、本年度で4年目になります。市の北西地区内の4分の1等においては、令和3年度より前の平成30年度から試行的に実施しておりましたので、地区によっては比較時期や感じ方に差が出てしまうかもしれません。

○会長 時期の設定が難しく、分析に使用することは難しいデータになるかなとは思いますが、一般論として、道路のマネジメントに力を入れていて、その成果が表れているかどうかは聞いてみたいですね。道路等包括管理事業にこだわらずに、「市としては道路のマネジメントに力を入れていますが、全体の印象として良くなっているのでしょうか。」という設問が一つあっても良いかなと感じます。実施において、何か問題はありますか。

○維持管理等担当主幹 そうですね。アンケートも会長がおっしゃるような形であれば、市民の方も答えやすいかなと思います。

○会長 居住地区ごとに回答の傾向が異なったとしても、それはそれで有意義な結果になるかもしれません。

○委員 アンケートで、どのような傾向があるかを分析するのはなかなか難しいところかもしれませんが、市民が、回答はしなくても、このようなアンケートが来ているんだなと思うことで、行政は関心を持って取り組んでいるのだというお知らせにもなるので、非常に良い取り組みだと思います。ただ、メール配信サービスやLINE公式アカウントの登録者数が載っていますが、そのうち仮にどのぐらいが回答してくれるか等のイメージはありますか。毎年実施して、徐々に増えていけばいいかと思いますが。

○会長 低くても良いので、何か目標を設定していた方が良いですよ。

○維持管理等担当主幹 現在、府中市でこのようなアンケートを実施している部所はそこまで多くないですが、メール配信サービスについては、登

録者の8,360人のうち約5%の回答が得られれば、府中市の人口約26万人に対しての有効な回答数が得られると計算しております。

○委員 LINE公式アカウントを5,000人が登録してるとすれば、250人ぐらいは回答してくれるかなということですね。

○維持管理等担当主幹 メール配信サービスの登録者も8,000人ほどおりますので、重複している方もいらっしゃると思いますが、こちらが想定している数よりも返ってくるのではないかと思います。

○事務局 補足させていただきます。アンケートの有効な数字を事前に調べさせていただきまして、府中市における必要な回答数ですと、信頼度が95%で許容誤差5%というものが一般的に信頼度の高いサンプル数と言われてまして、そこを設定すると約26万人の府中市では384件回答があれば、基本的には信頼度が高いとされている有効なアンケート結果になります。メール配信サービスやLINE公式アカウントの登録者数、アンケートの母数は5,000人以上ですので、有効となる回答数は得られるのではないかと考えております。

○委員 私、メール配信サービスに登録しており基本的にスマートフォンで見ますが、タイトルが全部見えない場合が結構あります。回答いただくためには、とにかくまずアンケートのタイトルを分かりやすくするというのをやっていただきたいなと思います。

また、メールの配信は何を目的にしている、アンケートはどこに反映されるのかが分かりやすいように工夫をしていただきたいなと思います。

○副会長 属性の偏りは大丈夫でしょうか。

○事務局 登録者を確認したところ、満遍なく70代以上の方や20代の方もおりましたので、偏りは問題ないと考えております。

○委員 先ほども議論があり何が一番良いのかは分らないですが、「少し良い」や「少し悪い」の「少し」がよく分らなかったのも、私は「どちらかという」とかの方が分かりやすいのかなとは思いました。ただ皆様のご意見をお伺いすると、そもそも別の表現の方がいいかもしれないとも感じました。

また、維持管理の状態は、回答者が住んでいる地域を府中市全体のいずれかを想定して回答するのが回答者に分かるように何か補足してもいいのかなと思いました。

もうお話があったところですが、大型構造物のイメージが付きにくかったです。里道（赤道）も分かりにくいと思いました。あと、資料2の効果算出方法で確認したいのですが、⑮以降のアンケートを取ると記載がある施設については、基本的にはこちらのアンケートの各設問に入っていると理解しております。一方で、⑩の道路等包括管理事業についてのアンケートは、こちらのアンケート全体のことを言っていると理解してよろしいでしょうか。

○事務局 皆様からご指摘ありました、道路等包括管理事業を実施することで全体として良くなっているかという設問等については、検討していきたいと考えております。また、説明が難しい面もございましたが、こちらのアンケート案自体は、タイトルにある通り道路等包括管理事業に紐づけておきまして、地域によって良い悪いの結果ができれば、もっと力を入れなければならないという分析につながると考えております。また、道路等包括管理事業の対象でない施設につきましても、なるべく市民へのアンケートが複数とならないように、アンケートを一つにまとめたいと考えております。本日の委員の皆さまのご意見を踏まえて、もう少し検討していきたいと考えております。

○副会長 そういう観点からしますと、やはりこの3つの居住エリアをある程度念頭に回答いただきたい、ということは明記したほうが良いのでしょうかね。

○事務局 最初の説明が不十分かなというところがございますので、お住まいのエリアでお答えください等、そういったことを書かせていただいて、また、各設問で「わからない」といった選択肢も作りたくと思います。お住まいのところにないものについては「わからない」を選択してください等、そういった丁寧な説明を記載したいと思います。なお、各設問は、一つ一つを詳しくしてしまうと、回答がなかなか難しいということがありますので、その辺はバランスを踏まえて再度、考えていきたいと思っております。

○委員 アンケートを集計した後に、また集計結果をメール等で配信いただくと、市民の皆さまが、自分や市民の回答はどうなったかと見てくださると思いますので、できればお願いしたいです。

○副会長 インフラは、基本的には状態が悪くならないようにマネジメントして保つということだと思いますので、資料2の計画の効果算出については、毎年のアンケートでは良くなっているという結果はなかなか出てこ

ないのではないかと思います。例えば、橋のように塗装をする場合、見た目が良くなるので、施設そのものが良くなったと感じるかと思いますが、そういった分かりやすい変化以外は、状態に問題ないか等、表現や質問の作り方を工夫しないと、「悪い」から「良い」に評価が変化することはないのではないのでしょうか。

○事務局 悪くならないように管理していることが、評価されるようにということですね。

○副会長 悪くならないように管理しなければならないし、悪くなったのであれば対処して、施設がしっかり保たれていれば、という評価だと思います。

○会長 最後の自由記述は、必須ではないのでしょうか。

○事務局 必須とはしておりません。ここで、アンケートの分かりやすさ等も含めてご回答がありましたら、次年度に向けて改良を検討したり、あとは基本的には悪いと回答する場合はおそらくなにか念頭に置いて回答されていると思いますので、具体的な施設場所等の記載があれば、またそれも直接反映できるかと思っております。

○会長 必須でも良いのではないのでしょうか。私が類似のアンケートを実施する場合は、必須としております。結構熱心に沢山記載されるのでそれは非常に参考になるんですよ。

○事務局 感覚的な回答はできるが、具体的にイメージしたわけではないという方がいたときに、ここまで来て必須なのかとなってしまうとアンケート回答の難易度が上がってしまうかと思っております。

○会長 必須とする場合、経験上は特になしやブランクを入力して送信している方がいらっしゃいます。

○事務局 どこまで求めるかというところかなとは思っておりますが、必須でなくても書きたい方は書いてくれるかなと思っております。

○会長 それでは、委員の皆さまのご意見はよく分かりましたし、私自身も回答しづらいと思った点がありますので、あとは事務局で検討していただき、私の方に案を送っていただいて調整するというようお願いいたします。

○事務局 いただいた意見を踏まえて、検討していきたいと思えます。

○会長 次第2 議題についてです。(1) 府中市インフラマネジメント計画(案)について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 資料4をご覧ください。

資料の記載内容について、前回から大きな変更があった箇所について、ご説明いたします。

30ページをご覧ください。右上のSNSを活用した市民への周知活動の部分に、この度「道路課公式X(エックス)」を作成いたしましたので、二次元バーコードを記載いたしました。また、右下には不具合通報システムの二次元バーコードも記載させていただきました。公式X(エックス)につきましては、既に運用を開始しており、現在フォロワーが104名、投稿については、インフラに関するクイズを行うなど、少しでも幅広い方にインフラに興味を抱いていただけるような発信をしていければと考えております。

続きまして36ページをご覧ください。インフラマネジメント計画が完成に近づく中で、36ページ以降の各取組の紹介ページ部分について、余白がどの程度発生するかが判明してきました。

現状では、事務局が撮影した写真や生成AIを用いて作成したイラストを埋め込む形で、作成しております。現在、写真やイラストが入っている箇所をご確認いただければと思います。37ページ、39ページ、43ページ、45ページ、49ページ、63ページ、68ページ、74ページ、87ページ、92ページになります。その他にも掲載予定スペースがありますので、協働まつりでイラストを描くワークショップを開催するほか、ペDESTリアンデッキの清掃等で連携を図っている明星学苑にも募集をかけております。

続きまして102ページをご覧ください。施策の効果額が2.50億円から2.69億円に変更となっております。これは、施策⑥の「法定外公共物の売払いの推進」について、効果額の試算にあたり、当初は【該当年度の払下げ金額】と短期計画期間の実績額【H30~R3の払い下げ平均額】との比較で試算しておりましたが、他の取組においては、現行のインフラ計画実施前との比較としているなど、条件がずれている箇所がございました。法定外公共物の売払いの推進の取組も現行計画実施前の実績額である【H24~H28年度の払い下げ平均額】との比較とする方が矛盾は生じないと判断したため、試算条件を変更したことに伴い、効果額が変更されております。

効果額の変更要因として、もう1点ございます。前回協議会にて、委員

からご意見のあった「植樹に関する経費を効果額に加味しないのか」という部分につきましては、再度、事務局で検討いたしました。前回ご説明いたしましたとおり、現状は植樹に関する計画がないことや今年度中に改定が予定されている街路樹の管理方針においても、今後5年間は積極的な植樹の考えはないことから、中期計画期間中は植樹のコストは計上しておりません。しかしながら、ずっと間引きをし続けて、緑をなくすという考えでもないため、長期計画期間においては、直近の伐採本数実績の半数程度の補植をするものとして、改めてコストを計上させていただきました。また、緑被率に関する観点でも、ご懸念をいただいておりますが、半数程度の植樹を前提にした伐採は、街路樹の生態系を維持するために必要なものであり、緑被率の低下にはつながらないものと捉えております。併せて、施策・施設④公園緑地等（植栽・花壇）についても、出来る限り街路樹の考え方に合わせて、植樹のコストを計上しております。

以上のことから、効果額の表記が変更されております。合わせて、103ページの各取組の効果額も変更されておりますが、表記の順番は変わっておりません。

続きまして、105ページをご覧ください。道路等包括管理事業における効果の部分に、図を記載させていただきました。不具合の発見方法については、事業者自ら発見する場合と、市民からの通報により対応する場合がありますということを示しております。

続きまして、118ページをご覧ください。令和3年度に実施した評価等委員会の様子を掲載しております。また、現状掲載はしてはおりませんが、122ページには今回の協議会の様子、答申の様子について掲載予定となっております。

説明は以上でございます。

○**会長** ありがとうございます。それでは今ご説明いただいた点についてご質問ご意見ありましたらお願いいたします。イラストは、割と簡単に換えられるのでしょうか。

○**事務局** 生成AIで作成しましたが、様々な条件を設定しても、最終調整がなかなか難しいところがありまして、その中でもこういったイメージの形であれば作れるといったものを記載しております。これも色鉛筆で書いたようにであったりとか、クレヨンで書いたようにであったりとか、例えば、小学生が書いたようにという書き方で指定すると、それ相応の形になっていきますので、写真に近いような書きぶりのイラストも多々ありますが、これをもう少しイラストのように変更する等の調整はできると考えております。

○**会長** 92ページの植栽ですが、文章は剪定・間引きについて記載されておりますが、イラストは、この逆のイメージかなと思います。

○**事務局** こちらにつきましては、取り組み一覧で、植栽・花壇の集約化及び合同化がありまして、それをイメージしたようなイラストになっております。

○**会長** 間引き剪定も大事なので、それを遠慮して出さないのも違和感があります。緑のための適切な剪定・間引きですと言っているのであれば、それをプラスに表現できるようなイラストがあると良いかと思います。また、45ページの公園の占用料使用料の適正化は、自動販売機が公園の一部を使用しているというイラストだと思いますが、市民の方が見て、イメージが湧くのかなと思います。公園を利用して収入を上げるといって、Park-PFIのようなイメージがあるかなと、例えば公園にカフェがあるイラストもいいかと思います。

○**事務局** ここにつきましては、2018年度の現行計画で公園内の自動販売機の写真が載っております、そちらをイメージしたイラストとなっております。

○**会長** 市民がまずイラストだけを見る場合もあると思います。協力しようと思わせるようなイラストがおそらくあると思います。皆さまいかがでしょうか。

○**副会長** 102ページ～104ページについて、主な取り組みの効果を第3回協議会での議論を踏まえて追加いただいたと思いますが、104ページの予防保全型管理の推進も効果額の対象にできるのではないかと思います。街路樹や植栽である程度費用が見込めるのであれば、その他にも対象としなくてはいけないかなと思います。

○**事務局** 予防保全型管理の推進については、もう既に白書の予測結果に入っておりますので、今回の効果額には入れておりません。

○**副会長** 2.69億円は、104ページ表3-3-3で計算した費用も入れているのではないのでしょうか。

○**事務局** 現行計画は、それらも含めて効果を試算しておりましたが、今回は、予防保全の計画は既に策定・進捗しているということ踏まえて、

効果の対象外としております。

○会長 注記等で記載することで、この効果もPRになると思います。

○事務局 102ページの予測結果『白書』30.61億円のところに予防保全型管理の金額はもう含まれていることを明記する形となると思います。

○副会長 それで良いと思います。

○委員 公園の占用料について、最近レンタルサイクルの駐輪スペースが多くの公園で設定されているのを見ますので、結構市民の皆さまにはもう周知されており、計画に記載する取組みとしてなじむのではないかなと思います。

○会長 それは、占用料は取っているものですか。

○公園緑地課長補佐 レンタルサイクルの駐輪スペースは、占用料を取っていないです。

○公園緑地課長 市の事業として行っており、公共的な利用になります。

○委員 そうなんですか。駐輪スペースをよく見かけるので、公園の法律等の変化に伴い占有や占用料の徴収が可能になったのかと思っておりました。分かりました、ありがとうございます。

○会長 市が実施しているから占用料は徴収していないということですかね。

○公園緑地課長補佐 占有はしていますが、占用料は取っていないです。

○公園緑地課長 公園では利益を求めるとしてないという大前提がございますので、占有できるかは、いわゆる公的なものであるとか自治会のイベントのため一時使用とかですね。そういった場合になります。あとは防災上必要ですとか、そういった観点がないと公園に占有するということができないです。

○委員 府中市との提携事業で、業者に委託している事業のような形でや

っているのですね。

○公園緑地課長 そうですね。レンタサイクルも営利目的だけであると公園の方では、許可できないことになってございますが、このレンタサイクルというのは、利用していただくことで市全体を回っていただくということで、市の効果を宣伝することを含めた行事として、まちづくり府中が主体となって取り組んでおりました、いわゆる観光のような観点で自転車を置いています。ただ、民間の営利目的だけのためというのは、なかなか許可がしづらく、あくまでもそういった制限がある中ですので、自動販売機についても、公園の利用者の利便性のためにということであれば置けますので置いてある場所もありますが、現在置いてあるところでは、公園の利便性のためであり占用料をいただいていないです。

○委員 そうすると、この絵はなじまないのでしょうか。

○公園緑地課長 公園の占用料を徴収しているのは、工事の足場や、防災上の観点から発電施設、電柱やガス管です。

○会長 一般的にはこういったものが占用料徴収の対象になりますよというイメージですかね。自動販売機のイラストを載せているからといって、府中市の公園は自動販売機について占用料を徴収しているか否か目くじらを立てる方はおそらくいないと思いますので、一般的なイメージとしての掲載であれば良いかと思います。

○副会長 49ページの人の顔が写っている写真は、許可を取らなくても大丈夫なのでしょうか。

○事務局 こちらは、生成AIで作成したイラストになります。

○副会長 イラストなんですね。

○事務局 作成には少し工夫が必要ではありますが、このように綺麗に作成できたものを載せております。

○会長 次に、次第2議題 (2) タイトルについてです。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 資料5をご覧ください。第3回の協議会終了後に、委員の皆様からタイトル案をいただきましたので、事務局案も加えたタイトル案一覧

を作成させていただきました。今回の協議会にて、この候補の中からタイトルを決めさせていただければと思います。
以上でございます。

○**会長** タイトルは、代表みたいなものですか。府中市インフラマネジメント計画っていうのがあって、その下にサブタイトルがある形でしょうか。

○**事務局** こちらがメインのタイトルで、サブタイトルを府中市インフラマネジメント計画とする予定です。

○**会長** そうすると、インフラという言葉を使うかどうかですかね。インフラという言葉を重ねて使わなくても良さそうだと思いますが、インフラという言葉がないのは、タイトル案2番と7番でしょうか。アンケートを取ってもいいですし、組み合わせてもいいですよ。事務局の方で評判の良いものはありますか。

○**事務局** 道路課の職員30名を対象に、11個の案から3つまで、市民に興味親しみを持ってもらえそうなタイトルということでアンケートを取りました。その結果、一番多かったものは「3 未来へつなぐインフラ管理」、次が「2 住みやすく持続可能な街づくりのために」、3番目が「10 人生100年時代に向けて、インフラも長生きしてほしい!」でした。

○**会長** 委員の皆さまそれぞれ3つ選ぶことにしましょう。金子副会長からお願いいたします。

○**副会長** 私は3つだとすると2番、7番、10番です。

○**委員** ここには入っていませんが、「朽ちるインフラ」のような危機感のある文言が入った方が、面白く興味を引くのではないかと思います。

○**会長** 例はありますか。行政としては言いにくい文言も客観的な事実として提示するというというのはいいですよ。

○**委員** 私は、2番が一番いいかなと思います。ただ、今のお話で計画の名称が今までの計画と違くと、皆さまが呼びにくいのかなというのは気になりました。市民に分かりやすいようにするために多分、インフラマネジメント計画っていう前に出さないようにしていらっしゃるんだと思いますが、正確な名称を読むときに、どうなのかなというのが気になります。

○会長 決めた後に考えることでいいでしょうか。

○委員 サブタイトルとして記載する方が、しっくりくるなと思いながら見ていましたが、2番、6番、10番が良いと思います。

○委員 5番の大作戦という文言はキャッチーで良いと思いますが、そこから文章を作成するとなると難しいですね。無難なのは2番でしょうか。

○会長 2番が一番多いですかね。ただ、普通な感じはしますね。それから見た人があんまり印象に残らないところがあるので、これを言い換えると良いでしょうか。安全を守る等は、それはインフラだけの話ではないので困りますね。命を守る等は、医療や介護が思い浮かぶので、安全を守る等の方がインフラの世界観が色濃く出るような気がしますね。あまり特異なことは言わずに、さらっと流してもらっても良いのであれば、2番が良いと思いますが、アイキャッチでボンとインパクトを与えるとすると、安全や崩壊といった言葉を入れた方がいいかなと思います。おまかせします。

○事務局 事務局としましては、本日決定したいと思っております。こちらのタイトル案もAIを使用して作成したものもありまして、小学生が考えたようなものや、専門家が考えたようなものと条件を設定する等、試行錯誤しながら、イメージがばらけるように事務局案で出させていただいたという経緯がございます。当初の予定としましては、このタイトル案をメインタイトルとして、インフラマネジメント計画をサブタイトルとしたいと、第1回協議会からお話をしてきておりますが、どちらをメインタイトルとすると良い等も、お決めいただきたいと思っております。

○会長 サブタイトルとするかメインタイトルとするかは、読み手としてはどちらでも良いですが、行政の要望として、突飛すぎるものをメインにできないのであれば、やや突飛なものをタイトルにしても良いかと思えます。あとは、表紙のフォントやポイントの大きさの話もあると思えますので、目に付くところに目につかせたいものを入れておけば良いと思えます。「住みやすく、持続可能な街づくりのために」や、「安全を守ります。」のような感じでどうでしょうか。多くの市民に気づいて手に取っていただくためには、少しショッキングなものでも良いかなというところもありますね。ただ持続可能というキーワードもよさそうな感じがします。前向きなメッセージでインパクトを与えるか、少しショッキングなものとするかですね。

○委員 今、生成AIで危機感を煽る題目と検索したら、「未来を支える土台が崩れる」や「インフラ危機の継承」が出てきました。未来を支える土台が崩れる等が、分かりやすいかもしれません。

○会長 なるほど皆さま駆使しておられますね。どうでしょうか。特にご意見がなければ、2番にしましょうか。改めてこれを選んだとして、事務局として不安なことはありますか。

○事務局 このタイトルであれば、説明はできると思います。

○委員 インフラという言葉は、結構市民の中で浸透されてきていると思いますが、このインフラマネジメント計画のインフラが何なのかは市民には分かりにくいところがあるかなと思っています。計画の中身を見る前に、何となくイメージできるような、何かしら工夫があると市民としてはとっつきやすいかなというのは感じていましたので、それがタイトルかあるいはイラストかはおまかせしたいと思いますが、そこは少し気になるところです。表紙一枚をめくっていただくために、その言葉の示すものが何か市民に分かると良いと以前から思っております。

○会長 表紙には、イラストを入れるのでしょうか。

○事務局 これまでのそういったご意見も踏まえて、タイトル案1番の「インフラってなあに」がありまして、それに付随する写真が表紙にあるというのが当初の事務局のイメージになります。イラストか写真かはありますが、まずはここで取り上げるインフラが何なのかを表紙で分かるようにするのは必要なことだと思っております。

○会長 写真やイラストを付ける前提ということですね。

○道路課長 今回、計画を作成するに当たりまして、役所は結構堅いイメージがあるかなと思ってまして、市で少しずつ色々な計画を作成している中で、写真や文字だけではない柔らかいイメージの計画も近年結構できてきております。我々も、インフラという言葉がとっつきやすいかどうか、多くの市民に見ていただけるのか。また、色々な場所で発信していきたい中で、例えば、小学生や中学生に、やはり学校教育の一環でも使っていたりするようなものを目指したいなと思っております。

まずは、委員皆さまからもあるように、まずこの計画が見た目でも開きたくなるようなものを作っていくたいというような発案でございます。今回ご議論いただいているタイトルについても、当初は、メインタイトルに資

料にあるような柔らかい文章を採用したいという思いがありました。ただ、本当にそれでいいのかというご議論もあり、今後、事務局・関係課で検討させていただけるものであれば、そういう形を取らせていただきたいと思います。全体としてはやはり、市民の皆さまが手に取って見ていただけるものを作成したいという思いがあります。

○**会長** 皆さまのご意見は、2番が良さそうだがインパクトが弱いかなというところだと思います。それを前提に、考えていただければと思います。

○**委員** 市民も色々な層の方がいらっしゃるので、興味がない、関係ないと思ってしまう方もいると思います。簡易版のような、そのような方向けのものを作成するのはどうかと思います。小学校等の学校教育でも活用できるかと思います。

○**道路課長** 貴重なご意見ですので、どういった内容の概要版を作成させていただくかということになると思います。

○**委員** どのような方を対象に、どのような内容とするかは選択しなければいけないと思いますし、全部を入れるのは少し難しいと思います。ぜひご検討いただければと思います。

○**道路課長** 検討させていただきます。

○**委員** これまで、パンフレットは作っていらっしゃいませんか。

○**事務局** 現行計画は、簡易版という形でパンフレットを作成した経緯がございます。今回は、現行計画と違って、冊子を作成・配布するのではなく、基本的にはホームページ上でのデータの公表という形になりますので、以前よりは、興味のある箇所のみを印刷する等の対応は、容易に可能だと思っております。

○**会長** 本計画の抜粋ではなく、例えば学校で使用できるような要約版を別に作った方が良いのではないのでしょうか。

○**事務局** データが基本的にありますので、担当者が対象に対してどう説明するかは自由度が高いと思っております。

○**会長** 要約版のようなものを雛形でつくるのが良いと思います。計画を全て見ることは大変ですので、概要資料があるといいと思います。

○事務局 そういった展開も考えていければなと思います。

○会長 そうですね。委員の皆さまが計画をご紹介する際に、それさえあればひとまずは役に立つような資料が一つあると良いかもしれないですね。

○副会長 もしそのようなものを作られるのであれば、そちらにキャッチーな言葉を入れることもできるかと思います。例えば、地域の安全を守るとか、そういったものも良いと思います。また、行政の計画として市のホームページ上は「インフラマネジメント計画」としておかないと他の計画との区別がつかなくなるのではないかと心配です。例えば、「街づくり」という言葉は、都市計画等のイメージがありますよね。サブタイトルであれば良いと思いますが、例えば2番をサブタイトルとして、概要版は柔らかめのをメインタイトルとして前面に出してもいいのかなと思いました。

○事務局 計画を公表するに当たって、どこに格納するか等だとは思いますが、「インフラマネジメントの取り組み」のような階層・ページの中で計画が公表されているのであれば、タイトルがどういう形であっても、分かりやすいように工夫できるかなと思います。都度の計画の加工も確実にできるか難しい面もありますが、例えば、子供に見てもらうときは、タイトルに分かりやすい文言を付け加える等、その辺の工夫は可能だと思いますので、そこを念頭に入れながらベースとしては、今お決めいただいたタイトル案としたいとは思っております。

○副会長 「安全」という言葉であれば、都市計画あるいは交通安全計画をイメージすると思いますので、計画の内容がすぐに区別できない気がします。市のホームページに色々な計画が載っていますが中身がしっかり分かるような表現になっているので、「持続可能な街づくり」からインフラを思い浮かべるのはなかなか難しいような気がします。都市計画マスタープランの方とも関連しますし、街づくりや地域交通戦略などをイメージしますので。懸念点ではありますが、行政の内部でそこは問題ないということであれば良いと思います。

○事務局 様々ないただいたご意見を踏まえて、不都合のないよう検討させていただきます。

○会長 それぞれご意見いただいたので、それを踏まえて事務局の方で工

夫してください。

○**会長** 続きまして、次第2議題 (3) 今後のスケジュールについてです。事務局から説明をお願いいたします。

○**事務局** 資料6をご覧ください。第4回協議会以降のスケジュールについて、ご説明させていただきます。協議会としましては、本日の第4回協議会をもちまして終了となります。その後、イラストや写真の選定等を行い12月20日(金)に答申を行えばと考えております。答申後は内部手続きやパブリックコメントを行い、令和7年度の市議会への報告を経て、令和7年7月頃にホームページに掲載いたします。今後の手続きを行っていく中で発生する懸案事項等につきましては、会長及び事務局一任とさせていただきます。以上でございます。

○**会長** 事務局の説明が終わりました。今後のスケジュールについて、ご意見や質問等ある委員はいらっしゃいますか。

○**委員一同** 一意見なし

○**会長** 最後に、議題3 その他です。事務局から説明をお願いいたします。

○**事務局** 事務局から1点、答申の日時に関する連絡事項になります。
日程につきましては、先ほどスケジュールの部分でお話いたしました12月20日(金)となります。時間としては、午前10時からを予定しており、場所はおもや4階市長応接室を予定しております。
以上でございます。

○**会長** 日時、場所について事務局より説明がありました。委員の皆さまにつきましても、お時間の許す方はお越しいただければと思います。皆さまご予定はいかがでしょうか。当日参加可能な委員は、今週中を目途に事務局へメールで連絡をお願いいたします。

事務局は、参加者確定後に当日の流れを改めてメールでお知らせをお願いいたします。

○**事務局** はい。承知いたしました。当日の流れ及び、おもや内の導線等を改めてメールで共有させていただければと思います。

また、本日の協議会が最後になりますので、都市整備部長の松村よりご挨拶をさせていただければと思います。

○都市整備部長 根本会長、金子副会長をはじめ、委員の皆さまには5月14日から約半年間で4回の協議会という、とてもタイトなスケジュールにも関わらず、大変熱心にご議論いただきましたことに対しまして、深く感謝の意を表します。

本日までご議論いただきました内容で後日、市長に答申を提出していただく予定ですが、その内容をもとに計画期間内において確実な成果を達成するべく取り組んでまいります。

委員の皆さまには、今後も引き続き、様々な形で市政運営にご協力をいただくとともに、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

結びに、根本会長、金子副会長をはじめ、委員の皆様方の今後のご健勝とご活躍を祈念申し上げます、御礼の挨拶とさせていただきます。

○会長 それでは、以上をもちまして府中市インフラマネジメント計画改定検討協議会（第4回）を閉会いたします。

これをもちまして、府中市インフラマネジメント計画改定検討協議会を終了します。半年間にわたり委員の皆様ありがとうございました。引き続きという話になると思いますが、着実に進めるという姿勢が大事だと思いますので、それぞれの立場でご尽力くださいますようよろしくお願いいたします。以上で終了します。